

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	原価計算2（Cost Accounting 2） 393148-14600					担当教員	中村 大輔 （ナカムラ ダイスケ）		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	後期
科目特性	資格対応科目 / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要

原価計算は、企業における特定の経済活動単位についての、原価と給付を比較計算する事である。原価計算は販売価格の設定だけにとどまらず、コストの削減や原価の作り込みなど、財務会計目的だけではなく管理会計目的としても重要である。換言すれば原価計算は企業経営者の業務的ないし構造的（戦略的）意思決定に必要不可欠な知識でもある。本講義は日商簿記1級の「工業簿記・原価計算」に対応し、特に原価計算2では直接原価計算や、業務的・構造的な意思決定などの管理会計的側面について学ぶ。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

日商簿記2級の工業簿記をベースとして日商1級範囲の原価計算を学ぶ。2級工業簿記（工業簿記1・2）の復習をしておくこと

④ 関連科目・履修しておくべき科目

工業簿記1・2に続く科目である。日商簿記2級工業簿記が理解できない場合、授業内容は理解できないため、これらの内容を学んだことがある学生が対象である。「原価計算1」と共に履修することが望ましい。

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 日商1級相当の直接原価計算・CVP分析ができる
- (ii) データをもとに業務的・構造的な意思決定ができる
- (iii) 比較的新しい分野（ライフサイクル・コストニング、品質原価計算など）を理解し、該当する分野の問題が解ける。

⑥ テキスト（教科書）

岡本清・廣本敏郎編著(2020)『検定簿記講義 1級工業簿記・原価計算＜下巻＞ 2020年版』中央経済社（2021年度版が発行されればそちらを利用する）

⑦ 参考図書・指定図書

岡本清(2000)『原価計算（六訂版）』国元書房

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%						100%
(i) 日商 1 級相当の直接原価計算・CVP 分析ができる	26.6%	6.6%						33.3%
(ii) データをもとに業務的・構造的意決定ができる	26.6%	6.6%						33.3%
(iii) 比較的新しい分野（ライフサイクル・コストリング、品質原価計算など）を理解し、該当する分野の問題が解ける。	26.6%	6.6%						33.3%
フィードバックの方法								

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
できるだけ多くの問題に触れ、各自で計算問題が解けるレベルに到達できるように進めたい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス・原価計算 1 の復習	テキスト、電卓	原価計算 1 の内容あるいは、工業簿記 1・2 の内容を復習しておく。	60 分
2	直接原価計算	テキスト、電卓	教科書を読み、2 級範囲の直接原価計算（特に固定費調整）の復習をしておく。	60 分
3	CVP 分析	テキスト、電卓	教科書を読み、2 級範囲の損益分岐点分析の復習をしておく。	60 分
4	原価予測の方法	テキスト、電卓	教科書を読み 2 級範囲の高低点法の復習をしておく。	60 分
5	利益・原価差異の分析	テキスト、電卓	教科書を読み、分析式の展開について理解できるようにする。	60 分
6	営業費の計算と分析	テキスト、電卓	教科書を読むとともに、練習問題に触れておく。	60 分

7	業務的意思決定の分析	テキスト、電卓	教科書を読み、業務的意思決定と機会原価の概念を理解しておく。	60 分
8	構造的意味決定の分析	テキスト、電卓	教科書を読み、加重平均資本コストと DCF について理解しておく。	60 分
9	ライフサイクル・コスト	テキスト、電卓	教科書を読み、ライフサイクル・コストの考え方を理解しておく。	60 分
10	品質原価計算	テキスト、電卓	教科書を読み、品質原価計算の特徴について理解しておく。	60 分
11	原価企画・原価維持・原価改善	テキスト、電卓	教科書を読み、標準原価計算と原価企画の関係について理解しておく。	60 分
12	活動基準原価計算	テキスト、電卓	教科書を読み、活動基準原価計算について、部門別計算との違いを理解しておく。	60 分
13	問題演習（原価計算分野）	テキスト、電卓	原価計算 1 で学修した範囲を復習しておく。	60 分
14	問題演習（管理会計分野）	テキスト、電卓	原価計算 2 で学修した範囲を復習しておく。	60 分
15	まとめ	テキスト、電卓	原価計算 1・2 で学修した範囲を復習しておく。	60 分

⑪ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。適宜小テストや課題等を行い、その解説を行うことで知識の定着を図る。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性